

総務委員会 所管事務調査報告書

令和7年4月23日

犬山市議会議長

柴 田 浩 行 様

総務委員長

岡 村 千 里

本委員会は、地方自治法第109条第2項及び犬山市議会会議規則第97条第1項の規定に基づき、下記の事項について調査したので、犬山市議会会議規則第102条の規定に基づき報告します。

記

1. 調査事項

移住定住促進策とシティプロモーションについて

2. 調査目的

当市における人口減少の急激な進行は、大きな課題であり、その対策は急務である。市では移住専用ホームページが開設され、注力していくところである。本委員会では、シティプロモーション等によって移住定住施策を成功に導くための調査研究を行う。

3. 調査方法

(1) 委員間討議

日 時 令和6年7月26日 午後3時28分から午後3時45分まで
場 所 第3委員会室
出席議員 5名（全員）
主な内容 視察先選定についての協議を行った。

(2) 現状把握（執行部からの現状説明・報告及び質疑）

日 時 令和6年8月9日 午前11時36分から午後0時02分まで
場 所 第1委員会室
出席委員 5名（全員）
出席者 経営部長、企画広報課長
主な内容 犬山市の行っているシティプロモーションについて、当局との意見交換による現状把握を行った。
・PR動画「My Daily Life at INUYAMA」、SNS、移住定住冊子「これからいぬやま」、PRグッズ「犬山市カ

レンダー」「いぬやまガチャ」等、「住むまちいぬやま」をテーマに、住みやすさ、魅力のPRを行っている。

- ・住宅展示場、移住定住関連イベントにブース出展を行い、犬山の魅力と詳細な情報を対面で伝えている。
- ・移住関連ウェブサイトへの記事掲載、「住むまちいぬやま」ウェブサイト開設、「ずっと いぬやま応援団」制度等、犬山市に関心のある人へのアプローチを行っている。

(3) 委員間討議

日 時	令和6年9月20日	午前11時36分から午前11時48分まで
場 所	第1委員会室	
出席議員	5名（全員）	
主な内容	石川県加賀市、富山県南砺市への事前質問事項についての確認を行った。	

(4) 先進地への行政調査

①石川県加賀市（情報収集と意見交換）

日 時	令和6年10月1日	午後1時30分から午後3時30分まで
場 所	石川県加賀市役所	
出席委員	5名（全員）	
テ ー マ	移住定住促進策とシティプロモーションについて	
主な内容	・移住施策を民間企業「(株)ぶなの森」に委託し、市と連携して行っている。 ・子育て支援、雇用支援、創業支援等、様々な支援を手厚く行っている。 ・加賀市定住促進協議会を設立し、各業界の有識者と共に、加賀市全体での受入れを協議している。	

②富山県南砺市（情報収集と意見交換）

日 時	令和6年10月2日	午前10時30分から午前12時00分まで
場 所	富山県南砺市役所	
出席委員	5名（全員）	
テ ー マ	移住定住促進策とシティプロモーションについて	
主な内容	・移住希望者のニーズに合わせて、里山・街なか両方の暮らしが体験できる「体験ハウス」を行っている。 ・なんと未来支援センター（委託）と共同で移住者の方に合わせてオーダーメイドの移住案内や、移住者交流会を行っている。	

(5) 執行部との意見交換（視察報告）

日 時 令和6年10月15日 午後1時06分から午後2時13分まで
場 所 第1委員会室
出席委員 5名（全員）
出席者 企画広報課長
主な意見 ・石川県加賀市、富山県南砺市の先進地事例をもとに、犬山市に有用な施策について意見交換を行った。
・年代や動機等、ターゲットを明確にし、的確な戦略を構築することが必要。
・15秒枠のPR動画を作成してはどうか。

(6) 市民との意見交換会

日 時 令和6年11月23日 午後2時45分から午後3時45分まで
場 所 犬山市民交流センターフロイデ
出席者 4名（1名欠席）
参加者 4名
主な内容 「犬山暮らしを自慢しよう！」をテーマに、市民と犬山の魅力と課題について意見交換を行った。
・テレビで国宝犬山城や城下町について取上げられることもあり、ネームバリューがあると思う。
・駅西交差点の地下道が使われていないように思うがどうか。
・場所の説明をする際に、道路名がわかりにくい。市内の主要道路に、犬山独自の愛称をつけてほしい。
・名古屋に近く、適度に自然があり、災害にも強いとされていて良い。

(7) 委員間討議（意見集約）

日 時 令和6年12月17日 午前10時22分から午前11時19分まで
場 所 第1委員会室
出席委員 5名（全員）
主な意見 ・移住体験を検討してはどうか。
・名古屋への通勤時間も含め、働く場所があることのアピールをしたい。
・犬山市らしさを踏まえた「強み」を魅力的に発信することが大切ではないか。

(8) 執行部との意見交換

日 時 令和7年1月20日 午後2時36分から午後3時04分まで

場 所 第3委員会室

出席委員 5名（全員）

出席者 経営部長、企画広報課長

主な意見

- ・観光面をPRしても観光に来る人しか来ない。移住には利便性と住むメリットのPRが必要である。「仕事」「自然」「宅地」「災害」様々な視点からの「住みやすさ」のアピールが大事。
- ・「ずっと いぬやま応援団」の活用を考えたい。
- ・紹介動画として使いやすい、15秒枠のショートムービーの作成に期待したい。

(9) 委員間討議（調査結果まとめ）

日 時 令和7年1月29日 午後2時59分から午後4時21分まで

場 所 第3委員会室

出席委員 5名（全員）

主な内容 1月20日の会議を踏まえ、市への提言のため意見集約を行った。

4. 調査結果

委員間討議を踏まえ、以下の3点について意見集約した。

- (1) 移住の推進には、利便性と住むメリットのPRが必要である。「仕事」「交通」「自然」「宅地」「災害」様々な視点からの「住みやすさ」のPRを検討すること。
- (2) 「ずっと いぬやま応援団」をより推進できる活用法を検討すること。
- (3) 紹介動画として使いやすいショートムービーの制作に期待したい。